

子育てに生かしたい「四訓」④

《四訓4》◆青年は目を離せ 心を離すな◆

思春期の頃になると、子供が学校のことをあまり話さなくなるなど心配事が一気に増えます。この頃に大切なのは「目を離せ 心を離すな」ということです。

試験があるのになかなか勉強をしない、部屋を片付けないなど日常生活でも口出ししたくなるが増えますが、小学生の頃のように言うことを聞かなくなってきました。子供の近い将来を考えると、つい干渉したり口出ししたりしたくなりますが、それは逆効果になることもあります。

この時期は、親から見ると未熟で心配なことも多いものですが、あえて目を離して自由にさせてあげることも大切です。青年期は、これからの人生の中で大変なことや辛いことが起こっても、それを乗り越えていくための力を養う時期。いつもあなたの味方だというメッセージを送り続けることが、何かあったときの子供の心のよりどころになります。そして、本当に大変な時や一人では乗り越えられないような時は、親としてしっかりとサポートしてあげましょう。

「子育て四訓」について3回に亘ってお話ししてきましたが、いかがでしたでしょうか？子供のやることは親が思っている通りにならないものです。ですから、親としてもついイライラして干渉しすぎてしまったり、腹が立ったりすることは子育ての中ではたくさんあります。そんな時に「子育て四訓」を思い出し、「今、うちの子供はどの時期なのか」、「どのような距離感でどのようなサポートが必要なのか」についての道標にしてみてください。